

I 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

★は修正した施策、赤字下線は修正した取組項目

★施策1 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進

- ①消費者による体験を通じたみやぎの食に対する理解促進
- ②消費者によるみやぎの食材の利用促進

★施策2 市場ニーズの変化に対応する県産食品の販売力強化（修正）

- ①消費者視点によるバリューチェーンの構築
- ②みやぎの食材・食品のブランド化推進による国内外への販路開拓

施策3 県民への安全・安心な食料の安定供給

- ①生産から製造の各段階における適正管理の強化
- ②科学的知見に基づく県産農畜産物の安全性評価
- ③様々なリスクを見据えた食料供給体制の構築

II 次代の人材育成と革新技术の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

★施策4 環境との調和に配慮した持続可能な農業の推進（新設）

- ①環境との調和に配慮した生産の取組支援と消費者の理解促進
- ②資源循環型農業の推進と地域資源の活用促進

★施策5 みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成

- ①意欲ある農業経営者の確保・育成と円滑な経営継承
- ②企業等の農業参入推進
- ③多様な働き手が活躍する取組支援

施策6 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化

- ①生産性向上のためのスマート農業の推進
- ②時代のニーズに対応した農業技術の開発と現地普及

★施策7 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化

- ①農業の成長産業化に向けた農業基盤整備
- ②中山間地域等における農業生産の効率化と優良農地の確保
- ③担い手への農地集積・集約化の推進
- ④農業水利施設等のストックマネジメントの推進（農業用水の安定供給）

★施策8 需要に応じた米生産と水田農業の収益力強化（修正）

- ①需要に応じた米生産
- ②実需に対応した大豆・麦類づくりの推進
- ③主要農作物種子の安定生産・供給
- ④収益性の高い園芸作物の推進

★施策9 先進的大規模拠点と核とした園芸産地の確立

- ①先進技術を駆使した施設園芸の推進
- ②大区画は場等を活用した露地園芸の推進
- ③安定供給体制強化のための産地拡充と地域の特色を生かした品目の振興
- ④食品関連企業との連携強化

★施策10 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化

- ①地域の中心となる先進的畜産経営の拡大
- ②自給飼料生産基盤の強化
- ③優良種畜の確保と生産基盤の拡大

III ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

★施策11 関係人口と共に創る活力ある農村

- ①農村を支える人材育成と体制整備
- ②交流拡大による関係人口の創出
- ③農村におけるデジタルトランスフォーメーションの推進

施策12 地域資源を活用した多様ななりわいの創出

- ①地域資源の掘り起こしと磨き上げによる高付加価値化
- ②地域運営組織等による地域資源を活用したなりわいの創出
- ③「地消地産」による地域経済循環の構築

★施策13 野生鳥獣による農作物被害対策の強化とジビエ利活用の拡大（新設）

- ①野生鳥獣による農作物等被害対策の強化
- ②ジビエ利活用の拡大
- ③野生生物の適正な管理

★施策14 地域資源の保全管理による営農・農村環境の維持（修正）

- ①農村の地域資源保全活動の推進による多面的機能の維持・発揮
- ②中山間地域等における農地の維持・保全
- ③農業水利施設の持続的な保全管理体制の構築と土地改良区の運営基盤強化

施策15 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

- ①農村地域の防災・減災対策の推進
- ②田んぼダム等農村地域の洪水調節機能の効果的な発揮
- ③農業水利施設等のストックマネジメントの推進
- ④農村地域の生活環境の維持

基本項目Ⅰ 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

施策1：県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進

① 消費者による体験を通じたみやぎの食に対する理解促進

- ・児童・生徒のみやぎの食と農に対する理解促進に向けた取組や、学校給食での地場産物の利用促進について、教職員、栄養教諭等を対象とした研修会等で啓発を行い、県内学校給食へのみやぎの食材の利用拡大を図ります。

資料2－（1）

② 消費者によるみやぎの食材の利用促進

施策2：市場ニーズの変化に対応する県産食品の販売力強化

① 消費者視点によるバリューチェーンの構築

- ・みやぎの食材の価値の向上と生産拡大のため、農業生産者、食品製造・加工業者、流通・販売業者の連携による課題解決を促進し、食の外部化や市場ニーズの変化に伴い多様化している消費者ニーズへの対応を図ります。そのため、各産業や大学等の関係者が一同に集まり、話し合うことで、連携による新たなビジネスを創出する機会を提供します。
- ・あわせて、海外のニーズにも対応するため、輸出先の国や地域の市場規模、食の嗜好等を分析し、それに応じた産地づくりや食品製造事業者の育成に取り組みます。また、産地から海外現地までが一体となり、安定的・継続的な輸出を実現するバリューチェーンモデルの構築に向けて取り組みます。



県産食材の海外輸出

資料2－（9）

資料2－（10）

資料2－（28）

② みやぎの食材・食品のブランド化推進による国内外への販路開拓

- ・みやぎの食材の美味しさを体感する人を増やし、消費とともに販路の拡大を図るため、国内外のバイヤーを招へいた商談会や試食会、産地視察を実施するほか、首都圏や海外等の飲食店や小売店等でのフェアを開催します。

資料2－（7）

資料2－（10）

資料2－（28）

【凡例】

全体会

農業部会

パブコメ

関係団体

県議会

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技术の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

施策4：環境との調和に配慮した持続可能な農業の推進

①環境との調和に配慮した生産の取組支援と消費者の理解促進

- ・環境保全型農業の中でも、消費者にわかりやすく、生産者が販売で差別化を図ることができる、化学合成農薬・肥料を使用しない有機農業の取組を拡大します。また、販売会等を通じ、環境に配慮した農産物の生産に対する消費者の理解促進に取り組みます。

資料2－(2)

②資源循環型農業の推進と地域資源の活用促進

施策5：みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成

①意欲ある農業経営者の確保・育成と円滑な経営継承

- ・農業を志す若者等を増やすため、農業高校との連携により農業者と高校生との交流を進めるとともに、農業に関心のある人材を対象とした農業体験等を通じて農業への理解醸成と県内就農の促進を図ります。

資料2－(20)

②企業等の農業参入推進

③多様な働き手が活躍する取組支援

- ・多様な働き手の確保と活躍のため、関係機関と連携し、地域農業を支える中小規模経営体に対する経営改善を支援するとともに、雇用就農や短期雇用などを希望する働き手と農業経営体を結びつける体制を構築します。また、外国人材を含む地域の多様な働き手が働きやすい環境の整備を支援します。

資料2－(11)

資料2－(21)



農業大学校における学生の実習風景

【凡例】

全体会

農業部会

パブコメ

関係団体

県議会

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

施策7：基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化

① 農業の成長産業化に向けた農業基盤整備

② 中山間地域等における農業生産の効率化と優良農地の確保

③ 担い手への農地集積・集約化の推進

・農業の生産性を向上し、競争力を強化するため、市町村や農業委員会等との連携を図り、**市町村の策定した「地域計画」の実現に向け、農地中間管理機構を活用して、担い手への農地の集積・集約化を推進します。**

資料2－(12)

資料2－(13)

資料2－(22)

④ 農業水利施設等のストックマネジメントの推進（農業用水の安定供給）

施策8：需要に応じた米生産と水田農業の収益力強化①

① 需要に応じた米生産

・業務用米など実需と結びついた米づくりの拡大のため、多収品種や直播栽培の導入などを推進し、生産コストの低減を図ることで、収益性を高めます。また、**気候変動に対応した新品種の導入や作期の分散、葉色に応じた追肥、飽水管理^(※)などの高温対策技術を推進し、米の安定生産と品質の向上を図ります。**

※ 飽水管理：水田の足跡に水がなくなったら入水し、表土が十分湿ったら止水・自然落水する方法。

資料2－(4)

資料2－(13)

資料2－(14)

資料2－(24)

② 実需に対応した大豆・麦類づくりの推進



水稻乾田直播作業
(播種)

【凡例】

全体会

農業部会

パブコメ

関係団体

県議会

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

施策8：需要に応じた米生産と水田農業の収益力強化②

③主要農作物種子の安定生産・供給

- ・ 主要農作物（稲・大豆・麦類）の品質確保・安定生産を図るため、「主要農作物種子条例」に基づき、種子生産者や関係機関等と連携し、需給計画に基づく優良な種子の生産・供給を図るとともに、気象変動等にも対応した品種の育成及び選定に取り組めます。さらに、安定的な種子生産体制を維持するため、担い手の確保や生産施設の老朽化対策等を推進します。

資料2－（14）

資料2－（23）

④収益性の高い園芸作物の推進

施策9：先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立①

①先進技術を駆使した施設園芸の推進

- ・ 更なる生産量の増加と品質の向上を図るため、いちご、トマト、パプリカで実証されているICT等を活用した高度な環境制御機器等の園芸DX技術に加え、高温対策と環境負荷低減に関する優良事例を横展開することで、施設園芸の高度化と園芸産出額の増大を図ります。

資料2－（4）

資料2－（15）



先進的園芸施設（いちご）

【凡例】

全体会

農業部会

パプコメ

関係団体

県議会

②大区画ほ場等を活用した露地園芸の推進

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

施策9：先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立②

③安定供給体制強化のための産地拡充と地域の特色を生かした品目の振興

- ・経営規模の大小に関わらず多様な経営体により形成されている既存産地の維持・拡充や気候変動への対応による安定供給体制の強化を図るため、機械・施設の導入支援やリース体制の構築、出荷調製作業等の分業化・共同化、物価高騰に伴う省エネルギー化に向けた取組を支援します。
- ・園芸産地の確立に向け、県育成いちご品種などの園芸種苗について、安定的な生産供給体制を構築します。

資料2－（4）

資料2－（15）

資料2－（23）

④食品関連企業との連携強化

施策10：生産基盤の拡大による畜産の競争力強化

①地域の中心となる先進的畜産経営の拡大

- ・家畜飼養頭数の減少、畜産生産者の高齢化等に対応するため、畜舎の整備や公共牧場等の利活用を進め、畜産経営の規模拡大と収益力の強化を図ります。あわせて、労働負担の軽減や気候変動への対応、生産性の向上を図るため、搾乳ロボット、畜舎環境制御装置などスマート農業技術の導入を推進します。

資料2－（4）

資料2－（15）

②自給飼料生産基盤の強化

- ・自給飼料の生産コストを低減するため、飼料用米の多収性品種の生産と利用の拡大を推進するとともに、気候変動に対応し、持続的な生産を可能にする牧草栽培技術の普及を図ります。

資料2－（4）

資料2－（15）

③優良種畜の確保と生産基盤の拡大



畜舎環境制御装置

【凡例】

全体会

農業部会

パブコメ

関係団体

県議会

基本項目Ⅲ ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

施策11：関係人口と共に創る活力ある農村

① 農村を支える人材育成と体制整備

- ・ 地域住民が主体的に活動する機運を高めるため、農村の暮らし体験や地域資源を活かした企画・運営に対して支援を行い、地域住民の積極的な地域づくりへの関与を促します。

資料2－（3）

② 交流拡大による関係人口の創出

- ・ 都市部や近隣地域との交流を拡大するため、地域住民を対象としたワークショップや勉強会研修会の開催などにより、地域食材や多様な地域資源を活用した交流活動が行える体制づくりを支援します。また、都市住民へ地域の魅力と交流活動の情報を発信するとともに、観光業との連携により誘客を図ります。

資料2－（7）

資料2－（16）

資料2－（25）



台湾の旅行会社に向けた
現地視察

③ 農村におけるデジタルトランスフォーメーションの推進

施策13：野生鳥獣による農作物被害対策の強化とジビエ利活用の拡大

① 野生鳥獣による農作物等被害対策の強化

- ・ 従来から実施している猪や鹿による農作物被害対策に加え、市街地や集落などの人の生活圏への出没が問題視されているクマ類については、農業者等が安全に生活・営農できるよう、国や市町村、関係機関等と連携を図りながら、人身事故防止に向けた対策を実施します。

② ジビエ利活用の拡大

③ 野生生物の適正な管理

【凡例】

全体会

農業部会

パブコメ

関係団体

県議会

基本項目Ⅲ ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

施策14：地域資源の保全管理による営農・農村環境の維持

①農村の地域資源保全活動の推進による多面的機能の維持・発揮

・農業・農村が有する多面的機能に関する県民の理解の促進を図るため、農業・農村が有する多面的機能の利益は広く県民が享受していることについて、**営農への理解等も含め**、県民の認知度向上に取り組みます。また、地域や学校教育との連携・協働による農村環境保全の活動を通じ、特色ある地域の魅力発信などを推進します。

資料2－（5）

②中山間地域等における農地の維持・保全

③農業水利施設の持続的な保全管理体制の構築と土地改良区の運営基盤強化

【参考：年間農業所得の目標値について

資料2－（17）

資料2－（29）

主要目標である「農業産出額」を補完する参考指標として、「年間農業所得の目標値」を計画本文に掲載しました。（年度内を目途に目標値の改定作業を進めるため、変更となる場合があります。）

区 分	目標(令和12年度)
年間農業所得	
主たる従事者1人当たり	480万円程度
主たる従事者1人、補助従事者1～2人	600～720万円程度
新規就農者	240万円程度

【凡例】

全体会

農業部会

パブコメ

関係団体

県議会

〔出典：農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針（令和3年4月 宮城県策定）〕

施策	コラム名
1	高校生が考える！宮城の食材を使った「高校生地産地消お弁当コンテスト」
	農産物直売所を基点とした地域食材の利用促進 ～直売所の機能強化と人材育成～
2	県内の食産業の連携で地域課題を解決しながら新たなビジネスを創出
	みやぎといえば「みやぎ米」 ～宮城米マーケティング推進機構の活動～
3	農業経営収入保険 ～農業経営にまつわるリスクをカバーする制度～
	設備強化により畜産の安全・安心を守る ～仙台家畜保健衛生所の新設～
4	みどり認定の取組拡大 推進中！
	環境に配慮した農業の理解促進に向けて ～生産者と消費者の交流～
5	異業種や県外企業による農業参入の事例
6	RTKシステムの位置情報と衛星画像データを活用した可変施肥技術
	気候変動に対応した農業技術の開発について

施策	コラム名
7	農地中間管理機構（農地集積バンク）の活用について
	スマート農業の導入に向けた生産基盤の整備
8	全国有数の普及面積を誇る宮城の乾田直播栽培、更なる拡大へ！
9	次世代型植物工場 ～持続可能な未来への新しい農業システム～
	一次加工業者との連携による園芸作物の規格外品活用
10	「仙台牛」の更なる美味しさを求めて
11	「農泊」から始まるによる地域活性化～広域連携で築く周遊ビジネスモデル～
12	地域資源を活用した新たな付加価値創出の取組
13	集落ぐるみの鳥獣被害対策の取組と捕獲鳥獣のジビエ利用
14	世界かんがい施設遺産 ー南原穴堰（大崎市）のご紹介ー
15	地域で取り組む流域治水 ー田んぼダム の取組ー